



「<<<<< CRAZY 'BOUT MUSCLE CARS
CHEVROLET CAMARO SS

取材協力: AUTOGALLERY TOKYO Tel. 042-799-5222 www.autogallery.co.jp



極低車高をもたらしエアサスにはアキュアーをチョイス。一瞬にして上下動を可能とする高性能タイプがインストールされている。



キャンディオレンジへと身を染めたフォルムはとにかく強烈な存在感を放っているが、SEIBON製カーボンボンネット&トランクフードがこれまたアクセントとなって、単に派手なだけではない一面を覗かせる。エンジンカバーなどもボディと同色にペイントして「魅せる」演出は抜かりない。さらにININEN製エアインテークキットによって吸気の、SLP製マフラーをヘタースからエンドまでフルに交換することで排気のパフォーマンス向上が図られている。

「ラグジュアリー・マッスル」と表現するのが相応しい

毎年11月初旬にアメリカ・ラスベガスで開催される、世界最大級の自動車イベント「ラスベガスオートショー」である。その中でも、全米各地でさまざまなカシヨが開催されている。その中でも、ラスベガスオートショーをローアップした「DU B」が開催される。DU Bは、高性能なスーパーカーも人気の高いカシヨの一つ。実はこのカマロも、2012年のDU BショーにホイールメーカーのMPCフォード・ホイールズが出席し、会場を賑わせたというのだ。それをオートギャラリー東京が日本へとインポート。

ヘースは2012年フルマロSSで、当時のボディカラーはホワイトだった。たもをキャンディオレンジへと全面的にリカラーして、強靱なインパクトを、だがそれだけに止まらず、もちろんボディカラーであるMPCフォード・ホイールズをインポート。メインは8本としながらも、さらに



メインは8本としながらも、さらにリムに向かって2本に分岐させる細身のスポークはエレガントさを演出しながらも、スポークにわずかなラウンドを付けた曲線美が秀逸なホイールは、MPCフォードのMPC5 TOKA。サイズは22インチ。さらにその裏には、ボディカラーと同色にペイントしたブレーキキャリパーが覗かせる。



撮影: 相模恒弘

オートギャラリー東京が手掛けたカマロSSはショーカーらしさが光る、圧倒的な存在感の高さが魅力的な1台。もちろんカスタムの内容も盛りだくさん。

「魅せる」こととにこだわって全面武装
強烈なインパクトこそ最大の武器